

北「衛星」発射、失敗

沖縄上空通過か

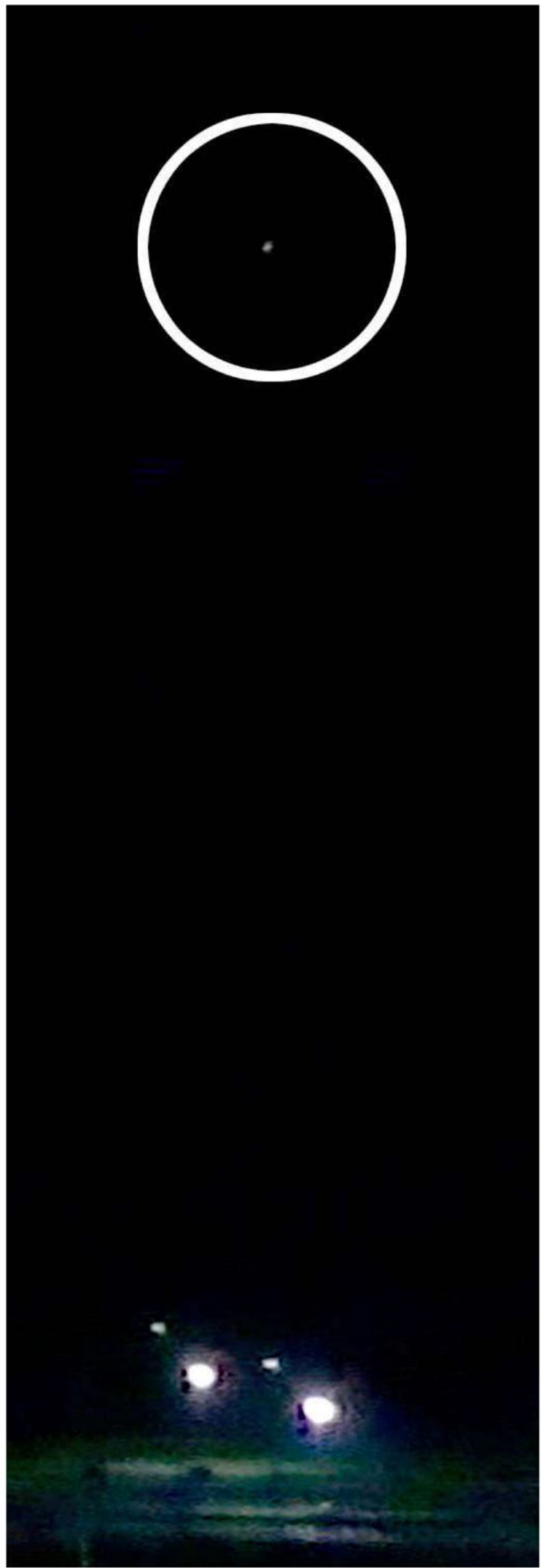
被害なし 日本政府が抗議

【北京共同】北朝鮮の朝鮮中央通信は24日、国家宇宙開発局が同日未明に北西部東倉里の西海衛星発射場から新型衛星運搬ロケット「千里馬1型」で軍事偵察衛星「万里鏡1号」の再打ち上げを行ったが、3段目飛行中に非常爆発システムにエラーが生じ失敗したと報じた。10月に再び打ち上げるとした。日本政府は全国瞬時警報システム(Jアラート)で北朝鮮がミサイルを発射し、午前4時ごろ日本上空を通過したもようだと速報した。5月末に続く衛星打ち上げ失敗となった。

韓国軍は、同3時50分ごろ、北朝鮮に対して嚴重に撃を警戒し、攻撃の兆候を察知し、最も強い表現で非難する」と述べた。被害は確認されていない。自衛隊は日本に落下した場合に撃墜するため、地対空誘導弾パトリオット(PAC3)を沖縄本島や宮古石垣、与那国3島に展開していた。

松野博一官房長官は記者会見で、沖縄県付近の上空をミサイル技術を使った発射を禁じる国連安全保障理事会決議違反だとして、制裁強化を図るとみられる。中国遼寧省東港で24日未明、共同通信のカメラに、南東へ約50キロ離れた東倉里の西海衛星発射場の方向から飛行体が上昇する様子が写っていた。

北朝鮮は22日、衛星打ち上げに伴い、24〜31日午前0時に朝鮮半島西側2カ所とフィリピン東部1カ所の海上に危険区域を設けると日本に伝えた。いずれも日本の排他的経済水域(EEZ)の外で、残骸の落下予測地点とみられる。



中国遼寧省東港から撮影した、北朝鮮・東倉里の西海衛星発射場の方向から上昇する飛行体(円の中央) 24日未明(共同)